

# もっと、あなたらしさが輝く場所へ 進化する ミSSION スタイル

学校全体に活気と  
勢いを感じる

小論文を通じて  
自分の将来を見つめる

今春、3コース制から2コース制へと移行した北陸学院高校(ミッション)。大学受験においては、推薦入試に強いことで知られています。今号では、推薦入試で重要なウエートを占める小論文の添削を担当する国語科教師が、自校と生徒への想いを語ります。

## リレートーク2012 Vol.3

んなにがんばった」という誇りを持って大学生活をスタートしてほしいと願っています。

男子生徒が増え、学校全体が活発な雰囲気になったことや合格実績の急伸など、ここ数年でミッションには多くの変化がありました。一般進学コース(今年度より総合進学コースに改編)から一般入試に挑戦する生徒が出てきたところから、その変化がはつきりとしてきたように思います。

「推薦に強い」というのが本校の大学入試の大きな特徴ですが、一般入試でも推薦入試でも、入試スタイルが違うだけで大学受験であることに変わりはありませんし、そのことを生徒には強く自覚するように伝えていきます。なぜなら、ここで受験の厳しさを乗り越える経験をするのが、これから先もずっと続く彼らの人生において、かけがえない「生きる力」になると信じているからです。大学入学後は一般入試を経験した生徒と同じスタートラインに立つ訳ですから、「自分はこの大学に入るためにこ

そのための生徒たちには、小論文では最後の1マスまで埋めるくらいの気概を持って取り組むよう指導しています。生徒と1対1で何を書きたいのかを話し合い、パーッとに何度も書く練習を繰り返すうちに、書く技術はもちろん、社会全体のことを考えたり、自分が将来社会とどのようなかかわりをもって生きていきたいのかが、生徒の中で明確になってきます。

### 【コース紹介】 あなたがより輝けるコースは？

#### 特別進学コース

【文系・理系】

難関国公立大学への進学を目指す

確かなサポート体制で、推薦入試はもちろん、センター試験を含む一般入試にも対応できるハイレベルなコース。コース定員の拡充により、同志社大学への特別推薦や有名私立大学の指定校推薦の利用率が拡大され、進学の選択肢がぐっと広がりました。

#### 総合進学コース

【文系】

「推薦枠」の利用を基本に、多彩な進路に対応

主に推薦入試で4年制大学を目指すコース。全国のおよそ100大学に500名近い推薦枠を有し、北陸学院大学への特別推薦枠もあります。今回のコース再編により、幅広い進路の選択が可能となりました。

#### 【主な進路イメージ】

- 難関国公立大学  
同志社大学・  
関西学院大学・  
金沢大学 など
- 4年制大学・  
短期大学・  
専門学校 など
- 北陸学院大学への  
特別推薦枠

※2年生への進級時にコース変更が可能です。 ※2コースとも習熟度に応じたクラス編成となります。

解でなくとも、「自ら考え、答えを出す」というプロセスを体験することこそが、重要であるからです。

一人の生徒に教師が  
深くかかわる

推薦入試の場合も、担任、国語科の教師、進路指導の教師が互いにコミュニケーションをとりながら見守り、支え、励ましています。

生徒もいます。相談に対しては、まず取捨選択のアドバイスとともに「先輩たちも同じように悩んできたのだから大丈夫」と励まし、状況によっては複数の教師と調整を行います。生徒の負担を軽くすることもありますが、このようなことをスムーズに行えるのも小規模校のよさではないでしょうか。

師も生徒にとことんつきあいます。「できた」という成功体験の積み重ねが、生徒の中に自然と高校生活そのものへの意欲を生み、徐々にその表情を輝かせていきます。そして、こういった生徒一人ひとりの内なる変化が、最初に述べたような学校全体の変化を生み出す大きな原動力になっているのだと思います。

小規模校のメリットとして、生徒一人ひとりに多くの教師がかかわれることがあります。

本校では、さまざまな体験が人間の成長を促すという、キリスト教教育に基づく教育方針「勉強プラスもうひとつ」を掲げていますが、推薦入試は時期が早いので、学校行事や部活動との両立に悩む

普段の勉強では、どの教科の教



あえて受験の厳しさを伝え、  
これからの人生を「生きる力」にしてほしい。

北陸学院高等学校 国語科教諭

# 玉作裕美

たまさく ひろみ

#### Profile

1965年生まれ。東京都出身。東京女子大学人文学科卒。都内および石川県内で高校教諭、予備校・塾講師を経て、2007年から北陸学院高等学校の教壇に。今年度は高校1年生を担当し、国語総合、国語表現、古典を教える。

## 2012年度の大学入試結果から 合格実績で見るミッション

一般入試の受験者が増えたことや、一般進学コース(今年度より総合進学コースに改組)からも有名私立大の合格者を多数輩出するなど、教育方針「勉強プラスもうひとつ」による充実した高校生活が、生徒の学習意欲の向上につながっています。

### 卒業生の合格実績 ※人数はすべて「のべ人数」

**すべて現役合格!!**

#### ■特別進学コース[文系・理系]

国立大学	愛知教育大(教育)、金沢大(医薬保健、理工)2名、信州大(工)、富山大(工)
私立大学	学習院大(文)、金沢学院大(経営情報)2名、金沢工業大(情報フロンティア)2名、金沢星稜大(経済)、関西学院大(文、法)4名、京都外国語大(外国語)2名、京都産業大(外国語)3名、京都造形芸術大(美術)、近畿大(総合社会)2名、神戸女学院大(文)、同志社大(社会、心理、政策、文、文化情報)6名、北陸学院大(人間総合)、立教大(文)

#### ■英理進学コース[文系・理系]

国立大学	金沢大(人間社会)、筑波大(社会・国際)
私立大学	愛知学院大(法)、愛知大(地域政策)、青山学院大(総合文化政策)、活水女子大(健康生活)、金沢学院大(文)、金沢工業大(環境・建築、バイオ化学)2名、金沢星稜大(経済)2名、関西学院大(神、教育、経済、国際、総合政策、人間福祉)6名、京都産業大(法)、金城学院大(文)2名、甲南大(マネジメント創造)、神戸女学院大(人間科学、文)2名、国際基督教大(教養)、玉川大(教育、経営)2名、中部大(国際関係)、東海大(文)、東京女子大(現代教養)2名、同志社女子大(表象文化)、同志社大(文)、東邦音楽大(音楽)、奈良大(文)、阪南大(流通)、フェリス学院大(国際交流、文)3名、佛教大(社会)、北陸学院大(人間総合)9名、北陸大(未来創造、薬)2名、松本歯科大(歯)、桃山学院大(経済)、立命館大(国際関係、文)2名、立命館アジア太平洋大(アジア太平洋)、龍谷大(国際文化、文)3名、ルーテル学院大(総合人間)
短期大学	富山福祉短大、北陸学院大学短期大学部2名、武庫川女子大学短期大学部

#### ■一般進学コース[文系のみ]

私立大学	大阪学院大(経済)、大阪産業大(経営)、金沢工業大(工、情報フロンティア)3名、関東学院大(経済)2名、京都精華大(人文)、京都橋大(文)、京都ノートルダム女子大(心理)、皇學館大(文)、神戸松蔭女子学院大(人間科学)、大東文化大(文)、同志社女子大(表象文化)、名古屋学院大(外国語)、文京学院大(保健医療技術)、法政大(法)、北陸学院大(人間総合)8名、武庫川女子大(文)、明治学院大(文、法)2名
短期大学	青山学院女子短大、京都光華女子大学短期大学部、金城大学短期大学部、帝京短大、富山福祉短大2名、北陸学院大学短期大学部14名、立教女学院短大

※上記一覧は2011年度卒業生の合格実績です。本年度入学者より「特別進学コース」「総合進学コース」の2コース制を実施。



本校は同志社大に12名、関西学院大に11名の推薦枠を有しています。実際、2012年度も特別進学コース18名のうち同志社大に7名、関西学院大に10名の合格者を輩出。本年度の2コース化により、推薦対象者の枠がさらに大きく広がります。

※2012年度入試の実績であり、今後変更になる場合がございます。

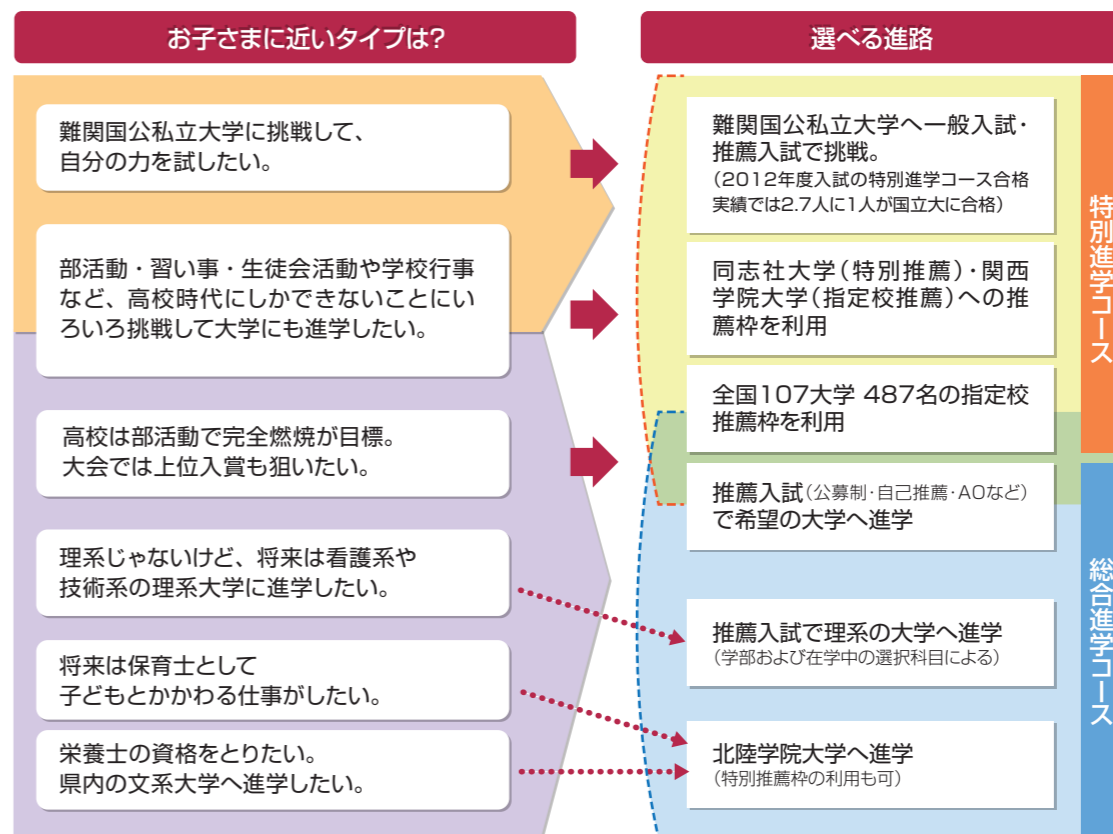
「勉強プラスもうひとつ」で、  
憧れの同志社大・関西学院大へ

2012年度入試の進路傾向から  
数字で見るミッション  
定着しつつある「高い大学進学率」



### 進路イメージ

推薦に強いミッションなら進学も安心



## 2012 OPEN SCHOOL — 体験入学のご案内 —

下記参加お申し込みは、各小中学校より配布のハガキかFAX、電話、本校ホームページよりお願いします。

### 北陸学院高等学校

2012年7月31日(火)

- 対象/中学3年生の男女生徒とその保護者
  - ところ/金沢市飛梅町1-10
- 〈お問い合わせ〉TEL.076(221)1944

### 北陸学院中学校

2012年7月28日(土)

- 対象/小学5・6年生の男女児童とその保護者
  - ところ/金沢市飛梅町1-10
- ※4年生以下の児童ならびに保護者のみの見学もできます。
- 〈お問い合わせ〉TEL.076(262)3012



### 中学生のお子さまをもつ保護者の方へ

#### 推薦入試でも公立高校との併願受験が可能

本校の推薦入試は公立高校との併願受験が可能です。さらに、所定の要件を満たす推薦入試での入学者は、初年度の授業料が無料となる「進学サポート奨学金制度」が利用できます。

※進学サポート奨学金の要件等の詳細についてはお問い合わせください。



※現在の内容は2012年度のものであり、今後変更になる場合がございます。

月刊北國アクトス2012年8月号掲載記事